

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 (そのほか必要があるときはあらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
単元株式数	1,000株

世界の技術光源になる。

ICHIKOH

市光工業株式会社 〒141-8627東京都品川区東五反田5丁目10番18号 TEL.03-3443-7281 FAX.03-3443-7233 URL : <http://www.ichikoh.com/>



平成19年度

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

中間

報告書



ICHIKOH

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社グループの平成19年度中間期の事業概況等をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、原油高等による原材料価格の高騰があったものの、企業収益は高水準で推移し、輸出も世界経済の拡大を背景に引き続き増加しました。また個人消費、設備投資等が底堅く推移したことや、グローバル市場で好成績を上げる企業に牽引されたことによって、経済は緩やかな拡大を続けました。

一方、世界経済においては、サブプライムローン問題による世界的な信用収縮等があり、それによる混乱が発生しましたが、その問題の発端である米国では景気減速が懸念されながらもほぼ横ばいで推移し、欧州では一頃の勢いほどではないものの依然好調に拡大し続けました。アジアに目を向けると中国では輸出と投資が堅調で高成長が続き、ASEANでは内需の持ち直しから緩やかな回復となりました。

当社グループが属する自動車業界においては、輸出と海外生産は好調で、世界生産台数が過去最高を記録するところもあり、グローバルで業績が好調なメーカーが多く見られました。しかしながら国内生産は、新潟県中越沖地震による生産停止の影響や国内販売低迷により減少し、上半期として4年ぶりに前年度実績を下回る結果となりました。

このような環境のもと、当社グループは第2次中期経営計画、年度方針に基づき、品質第一の企業への変革、収益力向上、グローバル事業展開、人材の強化に取り組んでまいりました。

品質第一の企業への変革では、品質システムの再構成、品質監査機能の強化、図面完成度評価の実施、試験設備の強化を展開しました。収益力向上、グローバル事業展開としては、中国市光法雷奥（イチコウヴァレオ（佛山））の早期黒字化、九州市光工業の生産体制強化、ASEAN連結拠点の黒字体質定着化に取り組みました。

それらの結果、当社グループの当中間期売上高は57,391百万円（前年同期比1.4%減）となりました。収益面では、営業利益は663百万円（同61.7%減）、経常利益811百万円（同61.0%減）となり、中間純利益は131百万円（前年同期は純損失4,403百万円）となりました。

今後のわが国経済の見通しにおいては、引き続き堅調に推移するものと思われませんが、さらなる原油高による原材料価格高騰等の不安材料やサブプライムローン問題に端を発する世界経済の減速懸念など、必ずしも楽観できない状況にあると思われま

自動車業界においては、国内生産、国内販売台数の伸びは期待できないものの、中国などの新興国市場の拡大など、世界各地の現地生産は今後も大きく伸びるものと思われま

このような状況下において、当社グループは、本年度（平成19年度）を初年度とした向こう3ヶ年の「第2次中期経営計画」を基本とする実行計画を策定し、計画達成に向けてグループを挙げて取り組みます。品質第一の企業への変革としては、更なる推進を図り、収益力向上の戦略としては、中国における自動車用ランプの生産拠点である市光法雷奥の有効活用による新市場での対応力強化や国内における自動車メーカーの一大生産拠点である九州地区新工場の活用による生産、物流等の効率化を進めてまいります。また、グローバル事業展開としては、提携先であるヴァレオ社との間で、技術その他の分野にわたり各種プロジェクトグループで協同作業を行うことにより、各々の取り組み課題を分担して効率的な解決を図り、併せて、両社で使用する部品の共同購入を通じて標準化を推進し、受注製品の全世界的な効率的供給を進めてまいります。人材の育成としては、全従業員に対しコンプライアンス研修の実施を図ってまいります。なお、環境対策としては、企業としての社会的責任を果たすべく、既に取得しているISO14001を当社グループ各社へと拡大し、環境負荷軽減を図ってまいります。このように当社グループは、グローバルでグループ一丸となって企業体質の強化と業績向上に邁進していく所存です。

以上により平成20年3月期の連結決算見通しとして、売上高120,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,600百万円、当期純利益1,000百万円を予定しています。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長

市川 脩 男



目次

株主の皆さまへ	1
ICHIKOH WORKS	2
財務ハイライト	3
中間連結決算概要	4
中間単独決算概要	6
Topics	8
株式の状況	12
会社概要	13

車の助手席側の死角を高性能CCDカメラで監視する「SIDE ASSIST」を発売しました。

ICHIKOHアフターマーケットブランドVELIASより、「SIDE ASSIST」(サイドアシスト)を発売しました。

「SIDE ASSIST」は赤外線搭載の高性能CCDカメラで運転席から死角になる左サイドを映し、車内の後付ナビモニターで状況を確認することができるシステムです。

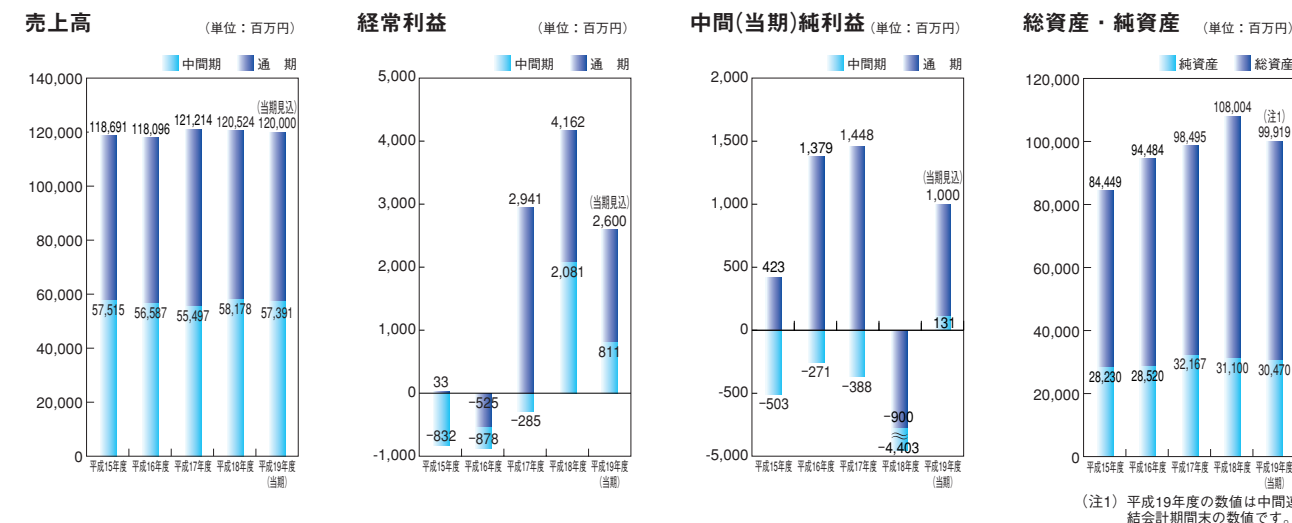
運転席からは死角となる左サイドの安全状況や駐車状況などを映像で確認することができるので、小さな子どもや対向車の状況を把握したり、縁石や側溝までの距離を確認することが可能となり、事故防止はもちろん脱輪・接輪によるホイールの傷防止にも貢献します。



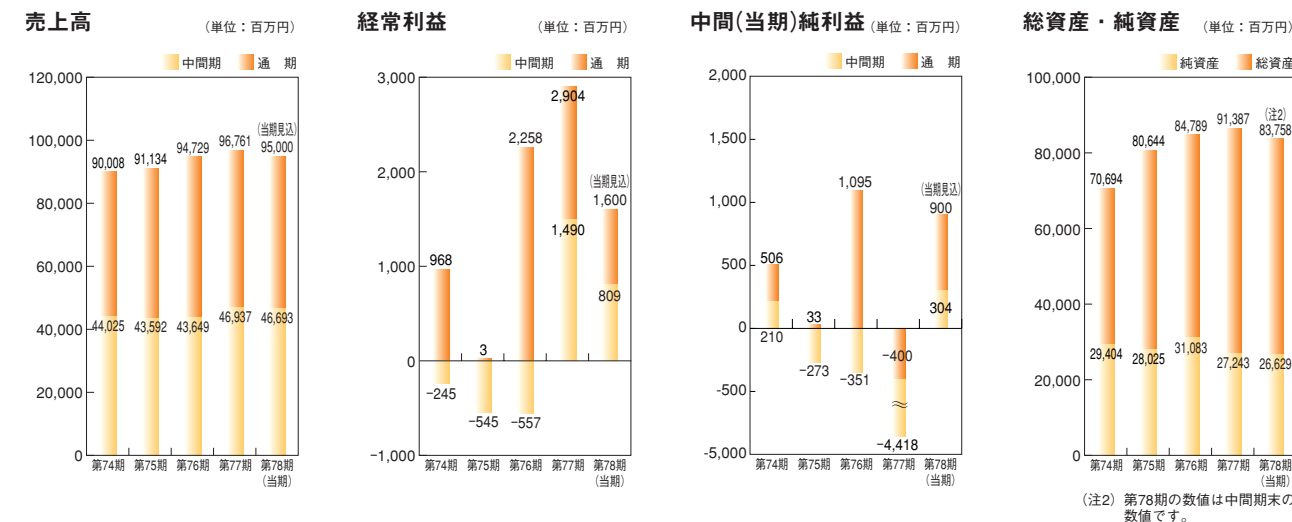
「SIDE ASSIST」は、水平91度、垂直72度の広角CCDカメラに加え、25万画素の高精度カラーCCDカメラを搭載。赤外線LED照射により夜間でも鮮明に状況を把握することができます。ミニバンやRV車をはじめとする国産車での搭載が可能です。



連結財務ハイライト



単独財務ハイライト



中間連結決算概要

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間末	前連結会計年度末	科 目	当中間連結会計期間末	前連結会計年度末
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在		平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	49,724	57,388	流 動 負 債	43,467	47,461
現金及び預金	10,352	14,536	支払手形及び買掛金	21,014	22,065
受取手形及び売掛金	20,489	23,272	短期借入金	4,895	4,729
有価証券	92	93	1年以内償還予定の社債	80	80
たな卸資産	9,266	8,629	1年以内返済予定の長期借入金	4,968	4,942
繰延税金資産	3,721	4,848	未払法人税等	174	220
その他	5,836	6,052	未払費用	3,463	3,421
貸倒引当金	△ 33	△ 43	役員賞与引当金	24	31
固 定 資 産	50,194	50,615	製品保証引当金	4,923	7,633
有形固定資産	31,109	31,746	その他の	3,923	4,336
建物及び構築物	9,565	9,823	固 定 負 債	25,980	29,431
機械装置及び運搬具	9,120	9,565	社 債	140	180
工具器具及び備品	2,885	2,896	長期借入金	12,418	14,670
土地	6,084	6,089	退職給付引当金	12,833	12,459
建設仮勘定	3,452	3,370	役員退任慰労引当金	212	321
無形固定資産	222	211	長期預り金	355	1,777
投資その他の資産	18,862	18,657	その他	20	23
投資有価証券	8,245	9,195	負 債 合 計	69,448	76,893
繰延税金資産	6,655	5,326	純 資 産 の 部		
その他	4,000	4,175	株 主 資 本	30,241	30,436
貸倒引当金	△ 39	△ 39	資 本 金	8,929	8,929
資 産 合 計	99,919	108,004	資本剰余金	7,840	7,840
			利益剰余金	13,496	13,688
			自己株式	△ 24	△ 22
			評価・換算差額等	△ 2,019	△ 1,488
			その他有価証券評価差額金	△ 826	△ 200
			為替換算調整勘定	△ 1,193	△ 1,287
			少数株主持分	2,248	2,162
			純 資 産 合 計	30,470	31,110
			負 債 純 資 産 合 計	99,919	108,004

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
売上高	57,391	58,178
売上原価	49,415	49,115
売上総利益	7,976	9,062
販売費及び一般管理費	7,313	7,330
営業利益	663	1,732
営業外収益	819	759
営業外費用	670	409
経常利益	811	2,081
特別利益	83	29
特別損失	186	9,046
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	708	△ 6,935
法人税、住民税及び事業税	224	927
法人税等調整額	227	△ 3,656
少数株主利益	124	198
中間純利益又は中間純損失(△)	131	△ 4,403

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,299	4,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,162	△ 2,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,372	△ 50
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 27	△ 4
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,262	1,882
現金及び現金同等物の期首残高	13,790	6,783
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,528	8,665

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	8,929	7,840	13,688	△ 22	30,436	△ 200	△ 1,287	△ 1,488	2,162	31,110
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 287		△ 287					△ 287
中間純利益			131		131					131
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
持分法の適用範囲の変動			△ 36		△ 36					△ 36
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 625	94	△ 531	86	△ 444
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 192	△ 2	△ 194	△ 625	94	△ 531	86	△ 639
平成19年9月30日残高	8,929	7,840	13,496	△ 24	30,241	△ 826	△ 1,193	△ 2,019	2,248	30,470

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単独決算概要

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第78期中間期末	第77期末	科 目	第78期中間期末	第77期末
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在		平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	39,729	47,067	流動負債	36,317	40,095
現金及び預金	5,882	9,066	支払手形	5,091	5,242
受取手形	729	1,020	買掛金	14,608	15,746
売掛金	16,377	19,028	短期借入金	1,900	1,900
有価証券	17	18	1年以内返済予定の長期借入金	3,861	3,664
たな卸資産	4,858	4,493	未払法人税等	56	44
未収入金	4,427	4,655	未払費用	2,468	2,523
関係会社短期貸付金	3,365	3,219	従業員預り金	349	352
繰延税金資産	3,457	4,704	製品保証引当金	4,923	7,633
その他	1,266	1,506	役員賞与引当金	24	27
貸倒引当金	△ 652	△ 645	設備関係支払手形	753	345
固定資産	44,028	44,319	その他	2,278	2,615
有形固定資産	23,097	23,680	固定負債	20,811	24,048
建物	6,958	7,102	長期借入金	8,115	10,170
機械及び装置	6,533	6,930	退職給付引当金	12,137	11,801
工具器具及び備品	2,101	2,016	役員退任慰労引当金	203	298
土地	4,287	4,287	長期預り金	355	1,777
建設仮勘定	2,889	3,001	負債合計	57,128	64,143
その他	326	342	純資産の部		
無形固定資産	162	154	株主資本	27,526	27,512
投資その他の資産	20,769	20,484	資本金	8,929	8,929
投資有価証券	7,302	8,261	資本剰余金	7,393	7,393
関係会社株式	3,193	3,193	資本準備金	7,393	7,393
関係会社出資金	1,698	1,698	利益剰余金	11,228	11,211
繰延税金資産	6,298	4,964	利益準備金	1,543	1,543
その他	2,281	2,372	その他利益剰余金	9,685	9,668
貸倒引当金	△ 5	△ 5	配当引当積立金	600	600
資産合計	83,758	91,387	固定資産圧縮積立金	349	349
			別途積立金	8,409	8,409
			繰越利益剰余金	326	309
			自己株式	△ 24	△ 22
			評価・換算差額等	△ 897	△ 268
			その他有価証券評価差額金	△ 897	△ 268
			純資産合計	26,629	27,243
			負債純資産合計	83,758	91,387

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第78期中間期	第77期中間期
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
売上高	46,693	46,937
売上原価	41,634	41,409
売上総利益	5,059	5,528
販売費及び一般管理費	4,666	4,553
営業利益	392	975
営業外収益	766	739
営業外費用	349	224
経常利益	809	1,490
特別利益	10	0
特別損失	134	8,976
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	685	△7,485
法人税、住民税及び事業税	37	787
法人税等調整額	343	△3,853
中間純利益又は中間純損失(△)	304	△4,418

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本									評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益剰余金合計		配当引当積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金						繰越利益剰余金
平成19年3月31日残高	8,929	7,393	7,393	1,543	600	349	8,409	309	11,211	△ 22	27,512	△ 268	△ 268	27,243
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当									△ 287	△ 287	△ 287			△ 287
中間純利益									304	304	304			304
自己株式の取得										△ 2	△ 2			△ 2
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)												△ 628	△ 628	△ 628
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	-	-	-	16	16	△ 2	14	△ 628	△ 628	△ 614
平成19年9月30日残高	8,929	7,393	7,393	1,543	600	349	8,409	326	11,228	△ 24	27,526	△ 897	△ 897	26,629

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



多彩なモデルに、多彩なフォルムの安全性能を提供しています。

それぞれのクルマのデザインに合わせ、常にベストの安全を提供し続けるICHIKOH。高度な配光設計シミュレーションや、製品の見映えを忠実に再現する3Dシミュレーション等、その先進の開発技術と確かな品質は、国内・国外の自動車メーカーからの高い評価と信頼に表れています。ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ドアミラー…。あなたのクルマにもきっとICHIKOHの製品が使われています。

ICHIKOHプリズムカメラ(世界初)

プリズムを利用し、画角を下方にティルトダウン。フラットなレンズ面を実現した世界初の小型CCDカメラです。

ICHIKOH Prism Camera

プリズムカメラは、車のボディー面のフラット化を目的に、ICHIKOHの光学技術を駆使して開発された世界初のカメラユニットです。車のボディーからカメラの突起部が出ないため、取付け場所も限定されません。プリズムを使用した独自のレンズ面を傾けて(ティルトダウン)、下方視界を実現しています。



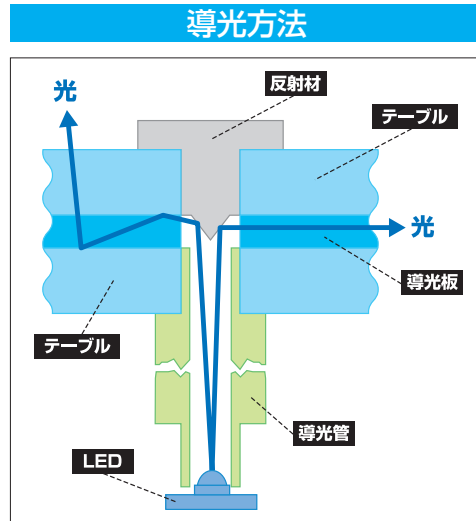
従来品<リアビューカメラ>		新製品<ICHIKOHプリズムカメラ>	
<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの突起部が大きく意匠性が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラを突出させない。(フラット化)→超広角カメラが必要。(下方視界を確保) ●超広角レンズの為、歪が大きい。 ●カメラに直射光(太陽光など)が入射しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの突起部がなし。→車体ボディーのフラット化で意匠性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの取付け場所が限定されない。 ●通常レンズの為、歪が少ない。 ●カメラに直射光(太陽光など)が入射されにくい。 ●ICHIKOH小型CCDカメラの部品共通化によりコストDOWN
<p><側面></p>	<p><断面></p>	<p><正面></p> <p>カメラの突起部がなし →意匠性が高い</p>	<p><断面></p>
<p><車体後部> <車体前部> <車体側部></p> <p>車体のあらゆる場所に取付け可能</p>			

ライティング コンソール テーブル

LED光源を使った新たな室内照明の提案です。樹脂の導光システムで均一な面発光を実現しています。

Lighting console table

LED光源を使い、全体をフラットに発光させたライティングコンソールテーブルです。樹脂による様々な導光システムを最大限に活用し、コンソールテーブル全体をムラなく均一に発光させる事に成功しました。下部ベース部分から出た光はパイプ状の導光管を伝い、導光管最上部の円錐状の反射材で反射。樹脂製のテーブル全体に拡散します。

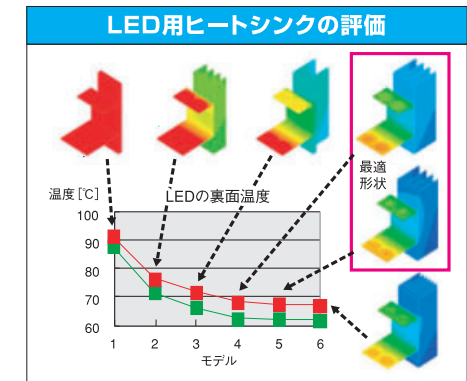
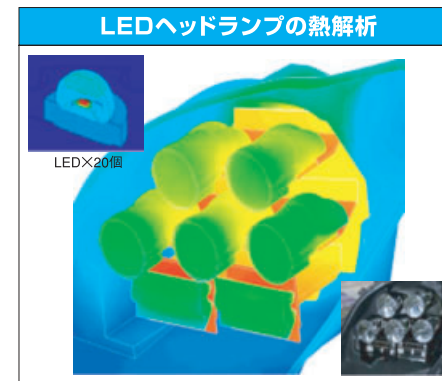
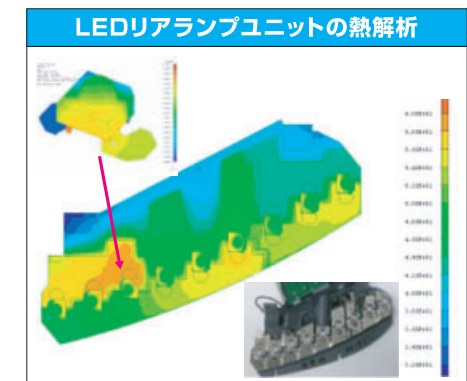
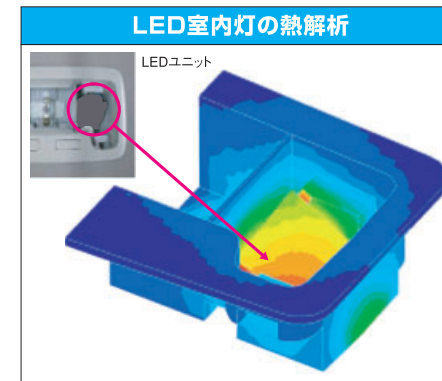


熱流体解析シミュレーションを活用したLED灯具開発

解析ツールを使用し、低コスト、短期間での開発を可能にします。

LED lighting development by thermal simulation.

LEDは過大な発熱に弱いため、LEDを使用した灯具では製品内部の適正な温度管理が必要になります。しかし、最適な冷却方法を探るには、膨大なコストと時間をかけ、実験と試作を繰り返す必要があります。これを解決するのがCHIKOHの解析シミュレーションです。正確なデータによって裏付けられた様々なLEDモデルを用意することで、ヘッドランプ、リアランプ、室内灯等LEDを使用したすべてのランプへの活用が可能です。



株式の状況 (平成19年9月30日現在)

株式の総数及び資本金

資本金	8,929,538,428円
発行済株式の総数	96,036,851株
発行可能株式総数	200,000,000株
株式の異動	
名義書換件数	141件
名義書換株式数	811,333株
期末株主数	9,095名

大株主 (上位10社)

株主名	持株数	議決権個数	議決権比率
ヴァレオ・バイエン	30,148 千株	30,148 個	31.54 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	5,869	6.14
株式会社みずほコーポレート銀行	4,775	4,775	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,688	3,688	3.85
ダイハツ工業株式会社	2,712	2,712	2.83
日本生命保険相互会社	2,687	2,687	2.81
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,344	2,344	2.45
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1,913	2.00
株式会社三井住友銀行	1,231	1,231	1.28
ハリソン東芝ライティング株式会社	1,030	1,030	1.07

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号

市光工業株式会社

設立

昭和14年12月20日

事業所

本社	〒141-8627 東京都品川区東五反田5-10-18 TEL 03 (3443) 7281
テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1488
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
大泉製造所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 2271
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
中津川製造所	〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-37 TEL 0573 (68) 6615
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
AM札幌センター	〒005-0036 北海道札幌市南区南36条西11-2-13 TEL 011 (581) 2166
大泉営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 0760
大阪営業所	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町15-39 TEL 06 (6384) 6551
九州営業所	〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-3-1 TEL 093 (522) 5711

取締役及び監査役

代表取締役社長	市川 侑 男
取締役副社長	青木 俊 朗
取締役副社長	津崎 栄 二
専務取締役	安藤 信 雄
常務取締役	大坪 千 二
常務取締役	小宮山 文 夫
常務取締役	後藤 博 美
取締役	米山 洋 一
取締役	中村 智
取締役	ジャンニポール・ラヴィエ
取締役	米田 摂 津 太 郎
取締役	谷野 幹 男
取締役	飯野 晴 康
取締役	加藤 章 夫
取締役	碓 幸 雄
取締役	田 中 薫
取締役	笠井 義 孝
社外取締役	ティエリー・ドゥリュエ
社外取締役	クロード・レシュレ
常勤監査役	山本 文 雄
常勤監査役	住野 稠 生
社外監査役	堤 淳 一
社外監査役	蛭 子 優

使用人数

連結	3,407(1,629)名
単体	2,219(1,020)名

(注) パート及び派遣社員等、契約期間に定めのある使用人は()内に外数で記載してあります。

株価及び株式売買高の推移

